

## 1 令和3年度 学校経営方針並びに教育目標

### (1) 教育方針

「仙台市教育構想 2021」の策定に伴い、持続可能な開発目標（SDGs）との関係性を示しながら、「たくましく、しなやかに自立する子供」の育成を目指し、「夢と希望を持ち、自らの可能性に挑戦する力を育てる」「健やかな心身を備え、豊かな人生を拓く力を育てる」「個性に応じた一人一人の学びを促し、長所を引き出す」を大きな柱とする。

具体としては

- 仙台自分づくり教育の推進
- ICT教育の推進
- 「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」「危機対応力」の育成を図る。
- 多様性に応じた教育機会の確保
- 一人一人に向き合える環境づくり

等にも努めながら、さらなる学校教育の充実を図る。

地域と学校との関連において、「学びでつながる、郷土を愛し絆を深める地域づくり」を基本に、「コミュニティスクールの導入・推進」を進める。

### (2) 教育目標

**「生きる力」を身に付け、夢を持ち、たくましく未来を切り拓いていく児童の育成  
～進んで学ぶ子、助け合う子、頑張りぬく子～**

### (3) めざす児童像

- ①進んで学ぶ子  
学習ルールや学び方を身に付け、自分の考えを積極的に発表する子供
- ②助け合う子  
自他を思いやり、善悪の判断を正しくできる子供
- ③頑張りぬく子  
困難に負けず、チャレンジしようとする行動力と強い心を持つ子供

### (4) めざす学校像

- ①楽しく充実した学校  
児童の学びを大切にし、教職員も共に楽しく充実した指導ができる学校
- ②夢を与え、夢を支える学校  
自分の力が発揮でき、将来への夢が広がる学校
- ③明るく豊かな学校

創意工夫を活かして活力がある，笑顔と明るい挨拶や歌声が響き渡る学校

④地域と共に歩む学校

地域に開かれ，地域と連携し，きれいで安心・安全な学校

## (5) めざす教師像

①楽しく充実した学校のために

分かる授業，楽しい授業を作り上げ，共に学び合う教職員

②夢を与え，夢を支える学校のために

一人一人の児童を大切にし，夢の現実に向かって支援する教職員

③明るく豊かな学校のために

挨拶，笑顔，礼儀を忘れず，児童に寄り添い考える教職員

④地域と共に歩む学校のために

保護者，地域の人々との交流を大切にし，信頼される教職員

## 2 令和3年度の重点目標と具体の取組

### 【重点目標1】

学習ルールや学び方を身に付け，自分の考えを積極的に発表しようとする姿勢を育成する

- 聞く，話すなどの学習ルールを確実に身に付けさせる。
- 児童の個性を職員で共有し，個に応じた指導の充実を図る。
- 発達段階に応じた学習形態，教材，教具を工夫しながら指導する。
- スキルタイムや個に応じた家庭学習（学年×10分）の工夫により，学習の基礎基本の定着を図る。
- 「ノーメディアの日」や「家庭読書の日」，「読書タイム」を設定し，読書活動を推進する。

### 【重点目標2】

自他を思いやり，善悪の判断を正しくしようとする姿勢を育成する

- 教職員が積極的に児童に挨拶し，良い手本を示す。
- 「ノーチャイム」によって，児童自ら時間にけじめをつけられるようにする。
- 縦割り活動や児童会活動を充実させ，学年に応じた役割を体験することによって，自己有用感を育む。
- 道徳教育，命を大切にする学習等の充実を図り，生命尊重，思いやりの心を育む。

### 【重点目標3】

困難に負けず，チャレンジしようとする行動力と強い心を育成する

- 「早寝，早起き，朝ごはん」を日頃から指導し，健康な生活を送ることの大切さを指導する。
- 食に関する指導（給食指導を含む）を充実させる。
- 「新しい生活習慣」を意識して生活できるよう指導を徹底する。
- 屋外で体を動かすことを推奨し，基礎体力の向上に努めさせる。

○失敗を恐れず、チャレンジすることの大切さを機会あるごとに指導する。

**【重点目標4】[協働型学校評価における今年度の重点目標]⇒自己有用感の醸成**

自分の長所が分かり、それを生かして学校生活を送ることができる児童を70パーセント以上にする。

**三者による改善活動**

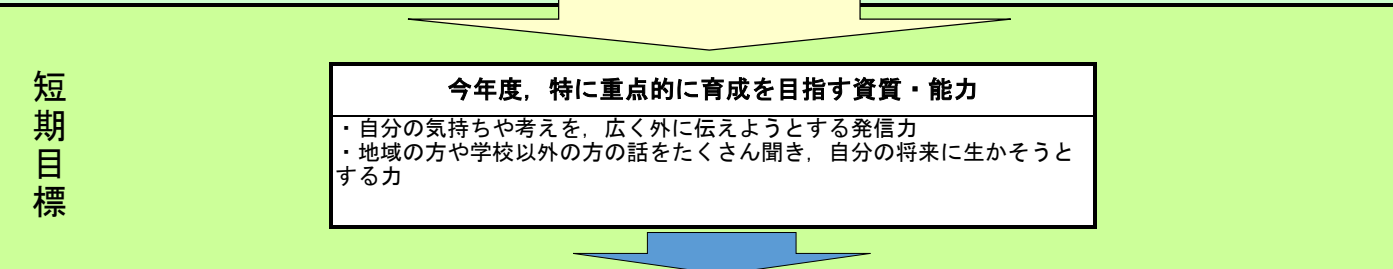
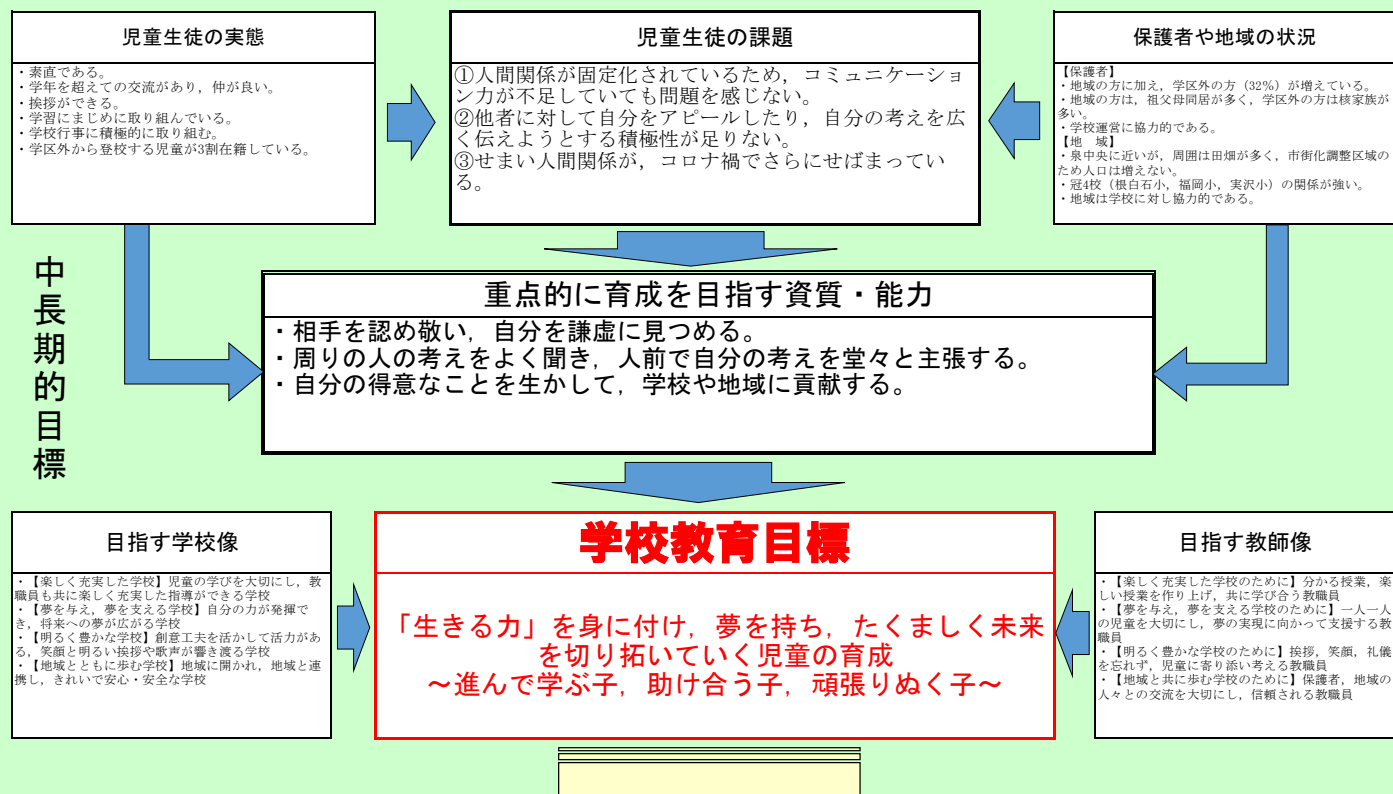
学 校	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 学習や行事のねらいを指導する際、自分のめあてを考えるようにさせる。</li><li>○ 学年の初め、中、終盤で、自分の活動について、「目標」「成果」「課題」を考える時間を設定する。</li><li>○ 自分の長所を生かして学校生活を送ることを意識させる。</li></ul>
家 庭	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 自分の子の良いところを意識して褒める。</li><li>○ できないことを責めず、次にどうしたらよいかを話し合い、励ます。</li><li>○ 学校、家庭以外の環境に子供を積極的に連れていき、そこでの活動を見守り、励ます。</li></ul>
地 域	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 子供会や地域行事に子供を参加させ、その活動を認め励ます。</li><li>○ 地域で積極的に挨拶の声掛けをする。</li><li>○ 学校の教育活動に積極的に参加し、児童と関わりながら、児童の活躍を見守り励ます。</li></ul>

**取組を進めるために**

- 学校だより、学年だより、学校ホームページ等で、家庭に対して取組の様子を紹介し、理解と協力を呼び掛ける。
- 日常の取組について、その成果と課題を懇談会や面談で伝える。
- 取組の状況について、職員会議等で定期的に話題にし、さらによりよい方策を探る。
- 「**P l a n, D o, C h e c k, A c t i o n**」を機能させ、学級経営、カリキュラムデザインに反映させる。

# 学校経営計画（グランドデザイン）

仙台市立野村小学校



令和3年度重点目標			
学校で目指す重点目標			三者協働で目指す重点目標
<p><b>重点目標 1</b></p> <p>学習ルールや学び方を身に付け、自分の考えを積極的に発表しようとする姿勢の育成する</p>	<p><b>重点目標 2</b></p> <p>自他を思いやり、善悪の判断を正しくしようとする姿勢の育成</p>	<p><b>重点目標 3</b></p> <p>困難に負けず、チャレンジしようとする行動力と強い心を育成する</p>	<p><b>重点目標 4</b> (協働型学校評価到達目標)</p> <p>自己有用感の醸成</p>
<p><b>具体の取組</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①聞く、話すなどの学習ルールを確実に身に付けさせる。</li> <li>②児童の個性を職員で共有し、個に応じた指導の充実を図る。</li> <li>③発達段階に応じた学習形態、教材、教具を工夫しながら指導する。</li> <li>④スキルタイムや個に応じた家庭学習（学年×10分）の工夫により、学習の基礎基本の定着を図る。</li> <li>⑤「ノーマディアの日」や「家庭読書の日」、「読書タイム」を設定し、読書活動を推進する。</li> </ol>	<p><b>具体の取組</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教職員が積極的に児童に挨拶をし、良い手本を示す。</li> <li>②「ノーチャーム」によって、児童自ら時間にけじめをつけられるようにする。</li> <li>③縦割り活動や児童会活動を充実させ、学年に応じた役割を体験することにより、自己有用感を育む。</li> <li>④道徳教育、命を大切に学習等の充実を図り、生命尊重、思いやりの心を育む。</li> </ol>	<p><b>具体の取組</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「早寝、早起き、朝ごはん」を日ごろから指導し、健康な生活を送ることの大切さを指導する。</li> <li>②食に関する指導（給食指導を含む）を充実させる。</li> <li>③「新しい生活習慣」を意識して生活できるよう指導を徹底する。</li> <li>④屋外で体を動かすことを推奨し、基礎体力の向上に努めさせる。</li> <li>⑤失敗を恐れず、チャレンジすることの大切さを機会あるごとに指導する。</li> </ol>	<p><b>協働型学校評価における今年度の重点目標</b></p> <p>自分の長所が分かり、それを生かして学校生活を送ることができる児童を70パーセント以上にする。</p>
			<p><b>三者による改善活動</b></p> <p>学 校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や行事のねらいを指導する際、自分のめあてを考えるようにさせる。</li> <li>・学年の初め、中、終盤で自分の活動についての「目標」「成果」「課題」を考える時間を設定する。</li> <li>・自分の長所を生かした学校生活を送ることを意識させる。</li> </ul> <p>家 庭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の子の良いところ意識して褒める。</li> <li>・できないことを責めず、つぎにどうすればいいかを話し合い励ます。</li> <li>・学校、家庭以外の環境に子供を積極的に連れていき、そこでの活動を見守り励ます。</li> </ul> <p>地 域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供会や地域行事に子供を参加させ、その活動を認め励ます。</li> <li>・地域で積極的に挨拶の声掛けをする。</li> <li>・学校の教育活動に積極的に参加し、児童と関わりながら児童の活躍を見守り励ます。</li> </ul>